



会長 吉田 弘二 幹事 黒澤 嘉徳 例会 毎週木曜日 12:30~13:30 旅館 エビスヤ  
http://takahata-rc.net 事務局 山形県高島町大字高島911-2/2F tel 0238-52-5440 fax 0238-52-5444

本日の例会 [2455th] 2018.11.1

 赤十字奉仕団山形県支部委員会  
顧問 我妻由美子氏

前回の例会 [2454th] 2018.10.25

 上和田有機米生産組合  
組合長 渡部宗雄氏

- ・点鐘12時10分 吉田 弘二 会長
- ・県民歌 最上 川
- ・ロータリーソング 奉仕の理想
- ・ソングリーダー 若林 智次 君
- ・S A A 鈴木 司 郎 君

会長あいさつ

吉田 弘二 会長

皆さん今日は。例会場での例会は3週間ぶりです。10月の最終例会になりました。今月も多く行事がありました。ひとつは、「太陽の家」祭りチャリティーバザーです。皆様より多くの品を提供していただきました。そして、早朝より奉仕プロジェクト委員会の皆さんにお手伝い頂きありがとうございました。おかげさまで天候にも恵まれ来場者も多く完売することが出来ました。近日中に贈呈してきます。

それから、12~13日の両日、岩手県大船渡市において開催されました東北地区RC親善野球大会に参加してまいりました。大船渡RC主幹のもと、開会式を兼ねた前夜祭が盛大に開かれ各チームの皆さんと楽しく懇親を深めることが出来ました。試合当日も野球日和の天候で対戦相手の大船渡西RCと熱戦を繰り広げましたが、最後は相手に花を持たせました。グラウンドとバスでの好プレー・珍プレーとにかく楽しい2日間でした。ドライバーをしてくれた相田君と山村君に感謝申し上げます。

又、20~21日と2018-19年度RI第2800地区大会が酒田市を会場に開催されました。丸尾研一RI会長代理、山形県知事吉村美栄子様、酒田市長他多くのご来賓をお迎えし開催されました。記念事業は、東日本大震災により山形県内に非難しておられる方々に山形県を通じて支援金を贈呈。さらに、酒田市へ。介護施設等の福祉機器不足解消にと、車椅子10台を贈呈しました。その後、特別記念講演としてアルピニスト 野口健氏による「先の日本を思えばこそ」のタイトルで講演がありました。エベレスト・富士山の清掃登山、地球温暖化などの環境問題、戦没者の遺骨収集などを通じて感じた「日本の先」とは。考えさせられることが多々ありました。今回は7人で参加し、湯の浜温泉の「亀や」で楽しく移動例会を満喫して参りました。

それでは本日のお客様をご紹介します。上和田有機米生産組合長の渡部宗雄様です。後ほどスピーチをお願いします。最後になりますが、会員の皆様にとって良いことも沢山あったようです。山形県醤油味噌品評会において優秀な成績を取られました木村醤油店さん、それからココ・イズミヤさんの創業祭におめでとうございます。益々のご繁栄をお祈りいたします。

スマイルBOX

- ・「太陽の家」祭りで分煙機をエビスヤさんに購入して頂きました。木村 健彦 君
- ・全国醤油味噌品評会と山形県の品評会でも賞を頂きました。
- ・大船渡での野球大会は笑いあり、涙あり、珍プレーありの楽しい例会でした。来年は宮城開催。山村 義美 君
- ・「太陽の家」祭りのチャリティーは完売しました。娘が結婚しました。クラシックカーでは錦爛さんのお酒を頂きました。加藤由香里 君
- ・ゲストの渡部さんには当松風会の職員がお世話になりました。高梨 正章 君
- ・お蔭様でクラシックカーが盛大に開催されました。商工会の木製看板を制作しました。伊澤 光明 君
- ・伊澤さんに看板を制作して頂きました。クラシックカーの来場者は5万人とのことです。長谷川春海 君
- ・商工会看板の文字のデザインをしました。桑島 周士 君
- ・様々な行事に参加されお疲れ様です。吉田 弘二 君
- ・地区大会において「亀や」ご利用ありがとうございました。長谷川平内 君
- ・結婚して20年目を迎えました。相田日出男 君
- ・ゲストの渡部さんに感謝して。後藤康太郎 君

ゲストスピーチ

上和田有機米生産組合  
組合長 渡部宗雄氏



高島町における有機農業

	平成30年	平成10年
農家戸数(飯米農家含む)	1621戸	約2000戸
米販売農家	780戸	約1200戸
特別栽培農家	不明 655ha	400戸 700ha
有機栽培実践農家	63戸 104ha	70戸 107ha
高島町有機農業推進協議会	加盟 8組織	11組織

■「全国農業の実態」 この20年で70兆円の予算投入  
農業総産出額 11兆円 ⇒ 8兆円  
農家所得 5兆円 ⇒ 3兆円  
耕作面積 500万ヘクタール減  
農業従事者 263万人 ⇒ 170万人  
65歳以上の割合 34% ⇒ 63%

■農業収入に占める助成金の割合  
スイス 104% 日本 30%  
フランス 94% 2016年  
ドイツ 69%  
イギリス 90%  
以上 2013年

■有機農業の歴史  
1971年 全国有機農業研究会発足 一楽照雄  
「農業は本来 人間の健康や民族の存亡という観点から経済的見地に優先しなければならない」  
1973年 高島町有機農業研究会発足 38名で(平均27歳)  
青年団活動・公害問題等社会運動を経た若者たち 嫁殺し農業など……


1997年 発展的解散  
1986年 上和田有機米生産組合発足  
点から面への展開により環境保護と中山間地稲作の存続を科学で証明できる農業 独自の肥料 遠赤外線乾燥

■『提携』

《会長の時間》

・11月4日に予定していた I.Mは4月28日に延期になりました。

今回の例会 [2456th] 2018.11.8

 置広 高島消防署 救急係  
消防副士長 阿部貴文氏

市場流通で発生する産地間の競争を避け各々の風土を生かした相互理解による新しい流通

- 一顔の見える関係
- 田畑と台所が繋がる
- 大冷害への救援
- 震災への支援
- 相互扶助の精神

○せっけん運動 遺伝子の組み換え反対運動 生活班(女性)

○食農教育の支援 和田小、高島三中、高島中、高島高校、立教大学 他多数の大学 星 寛治氏が「耕す教育」提唱

- 和田小……地区内の独居老人に新米贈る
- 高島三中……ESD環境大臣賞
- 立教大学……コミュニティ福祉学部と高島高校 町と交流協定書
- 自給野菜組合……50年以上の積み重ね
- 平成5年 文部大臣賞
- 平成22年 農林水産省 全国環境保全型農業推進コンクール 農林水産大臣賞

■今後の活動

- ・食・米を中心とした健康づくりと基になる和食と食文化の提唱と継承
- ・地域の自然環境、農村環境の保持向上
- ・食、環境、農業、健康を次世代に 食育・食農教育
- ・農家としての自立と真の豊かさを求めて

《幹事報告》

金子 良弘 副幹事

- ・「太陽の家」祭り参加の礼状を頂きました。
- ・RC野球東北大会参加の礼状を頂きました。

《出席報告》

会員数 48名 出席者数 23名 出席率 47.92 %  
前回修正 出席者数 48名 出席率 100.0 %